

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-67661
(P2003-67661A)

(43) 公開日 平成15年3月7日(2003.3.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	4 1 0	G 0 6 F 17/60	4 1 0 E
			4 1 0 C
	5 0 4		5 0 4
	Z E C		Z E C

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-254370(P2001-254370)

(22) 出願日 平成13年8月24日(2001.8.24)

(71) 出願人 501336206

中村 悟

東京都品川区大崎2-7-3 久保杉ビル
4階 株式会社マンモスネット内

(72) 発明者 中村 悟

東京都品川区大崎2-7-3 久保杉ビル
4階 株式会社マンモスネット内

(74) 代理人 100112601

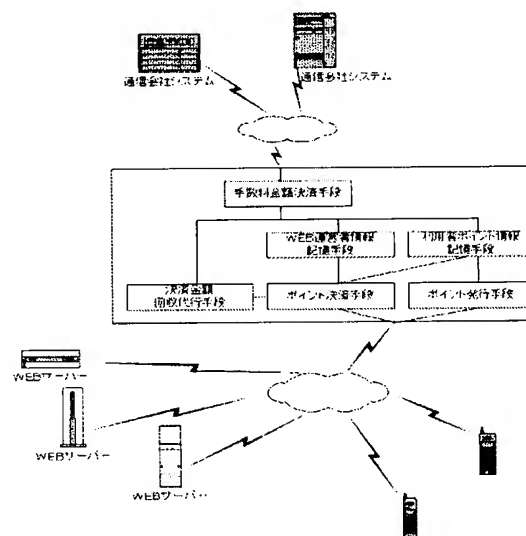
弁理士 金原 正道

(54) 【発明の名称】 ポイント購入サーバーシステムを用いた、小額決済のための回収代行システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な小額決済・回収代行のシステムを提供すること。

【解決手段】 アクセスした利用者にポイントを発行するポイント発行手段と、利用者に関する情報、ポイントを購入した金額及びその決済情報、及びポイント残高情報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段と、各WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うために決済要求データを受信して、WEB運営者情報、利用者情報及び決済金額データを抽出し、該当する利用者ポイント情報記憶手段のデータを更新するポイント決済手段と、前記のポイント決済手段がポイント残高からの決済を行い、金額の所定の割合の金額を該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う決済金額回収代行手段と、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う手数料金額決済手段とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話等の通信端末からインターネットを介してアクセスが行われ、利用者の操作により情報処理が行われるサーバーシステムであって、インターネットを介して接続可能に備えられる複数のWEBサーバーと、携帯電話等を用いてインターネットに接続可能にするための通信会社システムと連携して情報処理が行われるように備えられ、前記のサーバーシステムには、アクセスした利用者が金銭による決済処理と引き換えにポイントを発行するポイント発行手段と、利用者ごとに、利用者に関する情報、利用者がポイントを購入した金額及びその決済情報を記憶するポイント購入情報、及びポイント残高情報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段と、連携するWEBサーバーの運営者に関する情報を記憶するWEB運営者記憶手段と、各WEBサーバーから、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うために決済要求データを受信して、受信した決済要求データから、WEB運営者情報、利用者情報及び決済金額データを抽出し、抽出されたデータに基づき該当する利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新するポイント決済手段と、利用者ポイント情報手段に記憶されるポイント残高情報と、各WEBサーバーから受信した決済要求データに含まれる決済金額データとを照合して、前記のポイント決済手段がポイント残高からの決済を行った場合には、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う決済金額回収代行手段と、前記の利用者がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う手数料金額決済手段とを備えることを特徴とする、回収代行システム。

【請求項2】 請求項1に記載の発明において、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済要求を行い、各WEBサーバーから送信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済要求データを入力・送信された認証情報などの利用者に関する情報が含まれることにより、サーバーシステムにおいて、受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを照合することによる認証処理を経て、前記のポイント決済手段が、利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新する処理を行うことを特徴とする、請求項1に記載の回収代行システム。

【請求項3】 請求項2に記載の発明において、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済

要求を行う処理において、認証情報などの利用者に関する情報の入力、携帯電話等の通信端末に備えられるメモリ、ICカード、その他の記憶媒体に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を読み出す処理であることを特徴とする、請求項1又は2のいずれかに記載の回収代行システム。

【請求項4】 請求項1～3に記載の発明において、前記の決済金額回収代行手段が、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う処理は、所定期間における、複数の利用者の決済金額データを含む複数の決済処理についての支払決済処理を、所定期間ごとに行うことを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載の回収代行システム。

【請求項5】 請求項1～4に記載の発明において、前記の手数料金額決済手段が、利用者がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う処理は、所定期間における、複数の利用者のポイント購入金額又は決済金額データについての手数料支払決済処理を、所定期間ごとに行うことを特徴とする、請求項1～4のいずれかに記載の回収代行システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、利用者が携帯電話などからインターネットを利用してポイントを購入し、これを用いて、提携する他のWEBサイトにおける課金処理に利用することができ、他のWEBサイト運営者が行う課金に対する回収を、プリペイドのポイントを利用して行うことの可能な回収代行システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネットを利用した課金処理においては、クレジットカード決済や、現金決済のほかにも、プリペイドカードや電子マネーなどを用いた決済方法が開発されてきている。また、プリペイドカードや電子マネーなどにおいては、金銭に換算可能なポイントを用いることができ、様々なポイントシステムが開発されている。

【0003】例えば、このような分野における技術としては、特開2001-117984「電子決済システム」などがある。これは、WWWサーバが、顧客からの注文内容と携帯電話番号を含む注文データを受け付け、注文内容、金額および注文を承認するか否かの問い合わせ文を含む注文確認データを文字データとして作成し、携帯電話番号と共に携帯電話会社に通信回線を通じて送信する。携帯電話会社は制御手段により注文確認データを受け付け、制御手段の指示により、電話交換手段から顧客の携帯電話にダイヤルし、注文確認データの文字データを合成音声発生手段により音声に変換して携帯電話

回線を通じて送信する。注文が承認されると、料金精算手段により、顧客の携帯電話の料金に注文内容の料金を加算する、というものである

【0004】また、前記のポイントシステムとしては例えば、特開2001-101533「利用者認証ポイントシステム」などがあり、書きの構成を備えている。オープンネットワーク上での電子商取引において、決済機関で正当な利用者に対して認証情報を付与した電子証明書を発行する手段と、発行された上記電子証明書単位にポイント口座を開設するポイントの口座開設手段と、上記決済機関による決済金額に対するポイントを発行するポイント発行手段と、上記決済機関と契約のある電子店舗での利用の際に利用者を電子証明書の提示で正しく認証し、その利用者の対応するポイント口座の残高に応じた割引を受けられるポイントを管理するポイント管理手段と、を備える利用者認証ポイントシステムである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、前記の特開2001-117984のように、課金に対する決済処理において、携帯電話会社が直接関与する場合には、通信費の請求と関連して利用者への課金・決済処理が行えるために、さしたる問題は生じていない。例えば、NTTドコモ（商標）が提供するiモード（商標）サービスでの「公式サイト」の場合などである。ところで、携帯電話会社などの通信会社とは直接関連がなくWEBサイトを開設・運営しているいわゆる「非公式サイト」などにおいては、こうした課金・決済処理をとることができず、独自に課金・決済手段を設けなければならないという不便が生じている。一方これらのサイトには人気のあるものも多く、その数も膨大であり、独自に課金・決済手段を設けなければならないことは利用者に対しても不便を与えることになる。

【0006】独自にクレジットカードその他の決済を採用する場合には、特に小額決済の場合には利用した料金に対する手数料も大きく、また小規模なWEBサイト運営者においてはクレジットカード決済への加盟や、手数料などの面からもコスト・手間・加盟条件その他の面からの難点がある。一方、プリペイド式の電子マネーなどにおいては、コンビニエンスストアなどの実店舗において購入したりする不便があり、あるいは前記の特開2001-101533のように電子マネー発行者である金融会社への加盟や、手数料などの面からもコスト・手間・加盟条件その他の面からの難点がある。したがって、オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な小額決済・回収代行のシステムが存在していなかった。

【0007】そこで、上記の様々な課題を解決し、本発明においては、オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な小額決済・回収代行のシステムを提供すること

を目的とする。さらに、携帯電話会社などの通信会社への手数料支払いの手段を設けることにより、通信会社との提携を容易にし、本発明のシステムを普及させて殿WEBサイトでも、またどの利用者でも利用を簡易に行えるシステムを提供することをも目的とする。また各WEBサーバーから送信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済要求データに入力・送信された認証情報などの利用者に関する情報が含まれるようにすれば、受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを照合する認証処理により、ポイント決済時の「成りすまし」その他の不正を防止することにもなる。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明においては、携帯電話等の通信端末からインターネットを介してアクセスが行われ、利用者の操作により情報処理が行われるサーバーシステムであって、インターネットを介して接続可能に備えられる複数のWEBサーバーと、携帯電話等を用いてインターネットに接続可能にするための通信会社システムと連携して情報処理が行われるように備えられ、前記のサーバーシステムには、アクセスした利用者が金銭による決済処理と引き換えにポイントを発行するポイント発行手段と、利用者ごとに、利用者に関する情報、利用者がポイントを購入した金額及びその決済情報を記憶するポイント購入情報、及びポイント残高情報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段と、連携するWEBサーバーの運営者に関する情報を記憶するWEB運営者記憶手段と、各WEBサーバーから、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うために決済要求データを受信して、受信した決済要求データから、WEB運営者情報、利用者情報及び決済金額データを抽出し、抽出されたデータに基づき該当する利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新するポイント決済手段と、利用者ポイント情報手段に記憶されるポイント残高情報と、各WEBサーバーから受信した決済要求データに含まれる決済金額データとを照合して、前記のポイント決済手段がポイント残高からの決済を行った場合には、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う決済金額回収代行手段と、前記の利用者がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う手数料金額決済手段とを備えることを特徴とする、回収代行システムであることを特徴としている。

【0009】また、上記課題を解決するため、請求項2に記載の発明においては、請求項1に記載の発明において、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要

求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済要求を行い、各WEBサーバーから送信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済要求データを入力・送信された認証情報などの利用者に関する情報が含まれることにより、サーバーシステムにおいて、受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを照合することによる認証処理を経て、前記のポイント決済手段が、利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新する処理を行うことを特徴とする、請求項1に記載の回収代行システムであることを特徴としている。

【0010】また、上記課題を解決するため、請求項3に記載の発明においては、請求項2に記載の発明において、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済要求を行う処理において、認証情報などの利用者に関する情報の入力は、携帯電話等の通信端末に備えられるメモリ、ICカード、その他の記憶媒体に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を読み出す処理であることを特徴とする、請求項1又は2のいずれかに記載の回収代行システムであることを特徴としている。

【0011】また、上記課題を解決するため、請求項4に記載の発明においては、請求項1～3に記載の発明において、前記の決済金額回収代行手段が、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う処理は、所定期間における、複数の利用者の決済金額データを含む複数の決済処理についての支払決済処理を、所定期間ごとに行うことを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載の回収代行システムであることを特徴としている。

【0012】また、上記課題を解決するため、請求項5に記載の発明においては、請求項1～4に記載の発明において、前記の手数料金額決済手段が、利用者がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う処理は、所定期間における、複数の利用者のポイント購入金額又は決済金額データをについての手数料支払決済処理を、所定期間ごとに行うことを特徴とする、請求項1～4のいずれかに記載の回収代行システムであることを特徴としている。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。図1は、本発明のシステムの基本的な構成を示すシステム構成図である。本発明の

回収代行システム携帯電話等の通信端末からインターネットを介してアクセスが行われ、利用者の操作により情報処理が行われるサーバーシステムであって、インターネットを介して接続可能に備えられる複数のWEBサーバーと、携帯電話等を用いてインターネットに接続可能にするための通信会社システムと連携して情報処理が行われるように備えられている。通信会社システムは、携帯電話会社などの通信会社が提供する、WEBサーバー、ゲートウェイシステム、その他のシステムを備える。本発明のシステムと連携する複数のWEBサーバーは、インターネットサービスプロバイダーのWEBサーバーのや、レンタル等によりWEBサイトを開設・運営する者に対し提供されるWEBサーバーを含む。WEBサイトの内容は、商品やサービス等の販売、コンテンツやデータ等の販売、その他の様々な内容を含むことができ、課金の発生する一切のものを含むことができる。

【0014】本発明のサーバーシステムに接続するための利用者端末としては、主としてインターネット等に接続可能なブラウザ機能を搭載した携帯電話をはじめとする無線通信端末、携帯情報端末が想定されている。その他、パーソナルコンピュータやワークステーションなどのコンピュータ端末、インターネットTV、ゲーム機器、テレビ会議システム、その他のネットワーク接続機能を備えた家電製品などの機器を付録含む。利用者端末は、制御手段、記憶手段、入力手段、出力手段、表示手段などを備える。またインターネットに代表されるコンピュータネットワークに接続し、データの送受信を行う機能を備え、ブラウザや電子メールソフトウェアなどのアプリケーションプログラムや、オペレーティングシステム(OS)を備えることが通常の形態である。

【0015】次に、本発明のサーバーシステム1は、通常は、アプリケーションサーバー、データベースサーバー、認証サーバー、WEBサーバー、その他必要に応じメールサーバー、その他の各種装置により構成される。これらの各サーバーは、物理的に同一の装置に設けられる形態や、物理的に複数の装置からなる形態、あるいはネットワークを介して接続される物理的に複数の装置からなる形態などを含み、機能的に同様の機能が実現されるならば、様々な形態を含む。本発明のサーバーシステムに接続されて、記憶手段、制御手段、入力手段、出力手段、表示手段などが備えられる。CPU、RAM、ROMなどのシステムの制御手段等を有し、クライアントコンピュータとの間でデータを送受信するデータ送受信手段、クライアントコンピュータからのリクエストによりデータベース上のデータを検索する検索手段、データを保存するためのHDDなどの記憶手段、データを出力する出力手段、サーバコンピュータやデータベースのメンテナンス等を行うため必要なCRTや液晶ディスプレイなどの表示手段、キーボードなどの入力手段などにより構成される。

【0016】前記のサーバーシステムは、アクセスした利用者が金銭による決済処理と引き換えにポイントを発行するポイント発行手段を備えている。ポイント発行手段は、利用者端末から、プリペイド方式の金銭に換算可能なポイントを購入する購入要求データを受信する手段と、利用者の氏名、電子メールアドレス、決済方法等の利用者に関する情報を受信し抽出して、利用者ポイント情報記憶手段に記憶する手段と、購入要求データに含まれる購入金額を抽出して利用者ポイント情報記憶手段に記憶する手段と、購入要求データに含まれる購入金額に応じたポイントとして使用可能なポイントデータを発行して利用者ポイント情報記憶手段に記憶する手段と、必要に応じポイントを使用する際に各WEBサイトにおいて利用者認証を受けるための利用者のIDやパスワード等の認証情報を発行し、利用者ポイント情報記憶手段に記憶すると共に利用者端末に送信する手段とを備えている。

【0017】次に、サーバーシステムは、利用者ごとに、利用者に関する情報、利用者がポイントを購入した金額及びその決済情報を記憶するポイント購入情報、及びポイント残高情報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段を備えている。氏名、生年月日、年齢、電子メールアドレスなどの個人情報や、ID、パスワードなどの認証情報、その他上記のような情報を記憶するためのデータベースサーバーなどの記憶手段である。ポイント購入情報、ポイント使用情報、ポイント残高情報などは、ポイントを追加購入したり、各WEBサイトにおいてポイントを使用したりすることにより、データが記憶蓄積され、更新される。

【0018】次に、サーバーシステムは、各WEBサイトを開設・運営する、連携するWEBサーバーの運営者に関する情報を記憶するWEB運営者記憶手段を備えている。本発明のシステムは、WEBサイトを閲覧可能な携帯電話等の端末用にWEBサイトを開設・運営するWEBサーバーの運営者（インターネットサービスプロバイダーのWEBサーバーの利用者や、WEBサーバーをレンタル等してWEBサイトを開設・運営する者を含む）に対し、課金手段（特に小額課金）を提供するものである。本発明のシステム利用料金の徴収や、連携するWEBサーバーの運営者に関するデータ管理、各種連絡等を行うために、連携するWEBサーバーの運営者に関する、氏名、生年月日、年齢、電子メールアドレスなどの個人情報や、ID、パスワードなどの認証情報、その他の情報を記憶管理するためのデータベースサーバーなどの記憶手段である。

【0019】次に、本発明のシステムは、顧客端末からアクセスするためのコンテンツデータ及びプログラムを記憶するWEBサーバーを備えている。WEBサーバーに記憶されるコンテンツデータには、HTMLファイル、XMLファイルなどのWEB上に表示されるデータ

ファイルや、C-HTMLファイルなどのWEBサイトにアクセス可能な携帯電話等に表示されるデータファイルなどが含まれる。また、これらのファイルに挿入されるなどして表示又は出力される、文字データファイル、音声データファイル、画像データファイル、動画データファイル、アニメーションデータファイル、その他の様々なコンテンツデータを記憶することができる。コンテンツの内容は、利用者がポイントを購入するための入力・送信フォームや、ポイント購入・使用・料金などのシステムの説明、その他のものである。

【0020】WEBサーバーに記憶されるプログラムには、利用者端末からの検索要求に応答してデータベース等に記憶されたデータを検索・抽出するプログラムや、抽出されたデータをWEB上に表示可能なHTMLファイル等として生成するプログラム、利用者端末から送信された購入申込等のデータをデータベース等に記憶させるプログラム、サーバーシステムに接続された入力手段やコンピュータネットワークを経由して入出力されるデータを送受信・記憶等させるプログラム、WEB上のファイルから電子メールを送信等するためのプログラム、その他のプログラムを含むことができる。

【0021】次に、サーバーシステムには、本発明のシステムと連携する複数の各WEBサーバーから、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うために決済要求データを受信して、受信した決済要求データから、WEB運営者情報、利用者情報及び決済金額データを抽出し、抽出されたデータに基づき該当する利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新するポイント決済手段を備えている。受信される決済要求データには、連携するどのWEBサイトからのデータか、利用者のIDその他の利用者に関する情報、購入金額、購入品目、支払期日や期限、その他のデータなどである。

【0022】次に、サーバーシステムは、利用者ポイント情報手段に記憶されるポイント残高情報と、各WEBサーバーから受信した決済要求データに含まれる決済金額データとを照合して、前記のポイント決済手段がポイント残高からの決済を行った場合には、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う決済金額回収代行手段を備えている。例えば10000円の物を利用者が購入し、利用者の決済金額が10000円であった場合に、所定の割合を算出し、算出された例えば8500円を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行うものである。具体的には、算出された金額を示すデータを、WEB運営者情報記憶手段に記憶して、1か月ごとなどの総計金額を算出し、支払うべき金額を記憶管理させるためのデータ及びプログラムを記憶する手段である。

【0023】次に、サーバーシステムは、前記の利用者

がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う手数料金額決済手段を備えている。例えば10000円の物(又はポイント)を利用者が購入し、利用者の決済金額が10000円であった場合に、所定の割合を算出し、算出された例えば500円を、サーバーシステムから該当する通信会社に対し手数料支払決済処理を行うものである。具体的には、算出された手数料金額を示すデータを記憶して、1か月ごとなどの総計金額を算出し、該当する通信会社に支払うべき金額を記憶管理させるためのデータ及びプログラムを記憶する手段である。

【0024】以下、本発明の基本的な処理の流れについて説明する。図2から図6は、本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフローチャートである。なおここに示す処理の流れは一例であって、これに限定されるものではない。初めに、図2を参照して、利用者端末からポイントを購入する処理について説明する。

【0025】利用者端末からインターネットに接続し(S100)、URLの入力その他の方法により、本発明のサーバーシステム(ポイント購入サイト等のWEBサーバー等)にアクセスする(S101)。ポイント購入メニューを選択すると(S102)、入力・送信フォーム等のコンテンツデータをが利用者端末に送信され表示される(S103)。利用者端末においては、利用者の氏名、電子メールアドレス、決済方法等の利用者に関する情報を入力し(S104)、送信する。送信されたデータはサーバーシステムにおいて受信(S105)、受信した利用者情報を利用者ポイント情報記憶手段に記憶する(S106)。利用者のIDやパスワード等の認証情報を発行し、利用者ポイント情報記憶手段に記憶すると共に、利用者端末に送信する(S107)。

【0026】次に、利用者端末においては、ポイント購入金額などの購入要求データを入力し(S108)、サーバーシステムに送信する。送信されたデータは、サーバーシステムにおいて受信される(S109)。なお、ポイント購入の決済は、クレジットカード決済、現金決済、電子マネー決済、その他の様々な方法をとることができる。また、ポイント購入の要求に対して、過去の決済履歴などを参照して、利用者のチェックを行うこともできる。次いでポイントデータを発行し、発行されたポイントデータを加算して、利用者ポイント情報記憶手段に記憶・残高の更新を行い(S110)、利用者ポイント情報記憶手段に記憶する(S111)。以上によりポイント発行処理が完了し、更新されたポイント残高データなどを利用者端末に送信して通知する(S112)。

【0027】次に、図3及び図4を参照して、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認

証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済要求を行う処理について説明する。利用者端末からインターネットに接続し(S200)、本発明のシステムと連携するいずれかのWEBサーバーにアクセスする(S201)。前記のように、本発明のシステムと連携する複数のWEBサーバーは、インターネットサービスプロバイダーのWEBサーバーのや、レンタル等によりWEBサイトを開設・運営する者に対し提供されるWEBサーバーを含む。WEBサイトの内容は、商品やサービス等の販売、コンテンツやデータ等の販売、その他の様々な内容を含むことができ、課金の発生する一切のものを含むことができる。

【0028】利用者は、閲覧処理、検索処理等を行うことができ(S202)、商品購入・サービス購入・利用等の課金メニューを利用する際には課金メニューを選択し、購入・利用申込処理に進む(S203)。WEBサイトによっては、様々な課金処理方法を採用することもあるため、本発明のシステム(ポイント課金・回収代行)を利用しない場合には(S204)、他の課金処理へ進む。本発明のシステムを利用する場合には、入力・送信フォーム等を利用者端末に表示された際に(S205)、下記の処理を行う。

【0029】利用者のID等の認証情報を利用者端末において入力し(S206)、提携WEBサイトに送信し、提携するWEBサーバーにおいて受信され(S207)、記憶される。次に、提携WEBサーバーにおいては、利用者の認証情報、購入金額その他の決済要求データを抽出し、本発明のサーバーシステムに送信し(S208)、送信されたデータはサーバーシステムにおいて受信される(S209)。各WEBサーバーから送信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済要求データを入力・送信された認証情報などの利用者に関する情報が含まれることにより、サーバーシステムにおいて、受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを照合することによる認証処理を経て、前記のポイント決済手段が、利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新する処理を行う。

【0030】また、利用者端末から送信される認証情報などの利用者に関する情報の入力は、携帯電話等の通信端末に備えられるメモリ、ICカード、その他の記憶媒体に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を読み出す処理であってもよい。例えば携帯電話のメモリなどのハードウェアに認証情報を記憶させておくことにより、利用者は認証情報を入力しなくても、上記の処理が行われる。

【0031】次いで、サーバーシステムにおいては、利用者ポイント情報記憶手段を参照し、認証情報(ID等)から該当する利用者のデータを抽出する(S210)。利用者ポイント情報記憶手段に記憶されている該

当する利用者のポイント残高が、購入金額に足りているか否かを、ポイント決済手段が判定する(S212)。足りていない場合には、決済不可のデータを提携するWEBサーバーに送信し(S213)、提携するWEBサーバー(又は本発明のサーバーシステム)から利用者端末に送信される(S214)。決済可能の場合には、決済可能のデータを提携するWEBサーバーに送信する

(S215)。提携するWEBサーバーにおいては、購入品目・購入金額等の確認などを経て(S216)、OKであれば正式に決済要求データを提携するWEBサーバーからサーバーシステムに送信する(S217)。送信されたデータはサーバーシステムにおいて受信され(S218)、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶し、決済完了してポイント残高が更新される(S219)。利用者ポイント情報記憶手段に記憶管理される決済金額等のデータは、提携WEBサーバーへの支払決済処理、通信会社への手数料金額決済処理に用いられる。更新されたポイント残高のデータを提携するWEBサーバーに送信し(S220)、提携するWEBサーバー(又は本発明のサーバーシステム)から利用者端末に送信する(S221)。なお、更新されたポイント残高のデータは、提携するWEBサーバーには通知しなくてもよい。

【0032】次に、図5を参照して、前記の決済金額回収代行手段が、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う処理について説明する。ここでは、所定期間における、複数の利用者の決済金額データを含む複数の決済処理についての支払決済処理を、所定期間ごとに行う処理を例にして説明する。所定期間が経過するまで、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶し、ポイント残高を更新する処理(S219)を繰り返す。複数の利用者について同様の処理が行われる。複数の利用者に関する、複数の提携WEBサイトにおける、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶する処理である(S300)。

【0033】次に、所定期間が経過した場合には、複数の利用者に関する、利用者ポイント情報記憶手段に記憶された決済金額データを、回収代行手段が、提携WEBサイトごとに集計を行う(S301)。集計されたデータはWEB運営者情報記憶手段に記憶される。次いで、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を算出し(S302)、算出された金額をWEB運営者情報記憶手段に記憶する(S303)。記憶されたデータが示す金額に基づき、実際に各WEBサイト運営者への支払いが行われるが、支払方法はどのような形態であってもよい。例えば、全額をWEB運営者が得た上で、本発明のシステム管理者側に対しキャッシュバック等を行うことであってもよい。算出されたデータは、提

携する各WEBサーバーに送信され(S304)、通知が行われる。

【0034】次に、図6を参照して、前記の手数料金額決済手段が、利用者がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う処理について説明する。ここでは、所定期間における、複数の利用者のポイント購入金額又は決済金額データについての手数料支払決済処理を、所定期間ごとに行う処理について説明する。所定期間が経過するまで、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶し、ポイント残高を更新する処理(S219)を繰り返す。複数の利用者について同様の処理が行われる。複数の利用者に関する、複数の提携WEBサイトにおける、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶する処理である(S400)。

【0035】所定期間が経過した場合には、複数の利用者に関する、利用者ポイント情報記憶手段に記憶された決済金額データを、回収代行手段が、通信会社ごとに集計する(S401)。なお通信会社は単独であってもよい。例えば、NTTドコモ(商標)のiモード(商標)の公式サイトとして、手数料を支払う場合などである。あるいは複数の通信会社において汎用的に利用可能なシステムであってもよい。決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を算出し(S402)、算出された金額を手数料金額決済手段に記憶する(S403)。算出されたデータは、各通信会社システムに送信され(S404)、通知が行われる。記憶されたデータが示す金額に基づき、実際に各通信会社への支払いが行われるが、支払方法はどのような形態であってもよい。

【0036】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明によれば、オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な小額決済・回収代行のシステムを提供することができる。さらに、携帯電話会社などの通信会社への手数料支払いの手段を設けることにより、通信会社との提携を容易にし、本発明のシステムを普及させて各WEBサイトでも、またどの利用者でも利用を簡易に行えるシステムを提供することができる。また各WEBサーバーから送信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済要求データを入力・送信された認証情報などの利用者に関する情報が含まれるようにすれば、受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを照合する認証処理により、ポイント決済時の「成りすまし」その他の不正を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の基本的な構成を示すシステム構成図である。

【図 4】 本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフロ

[illegible]

```

graph TD
    S200[利用者端末からインターネットに接続(S200)] --> S201[本発明のシステムと通信するインターネットの通信機器(サーバー)にアクセス(S201)]
    S201 --> S202[閲覧履歴等(S202)]
    S202 --> S203[閲覧履歴等の課金メニューへの購入・利用等と処理(S203)]
    S203 --> S204{本発明のシステム(ポイント課金(取得履歴))を利用するか？(S204)}
    S204 -- YES --> S205[入力した通信アドレス等を利用者端末に表示(S205)]
    S204 -- NO --> S206[他の課金処理へ]
    S205 --> S206a[利用者のID等の認証情報を入力(S206a)]
    S206a --> S207[返戻しに利用するWebサービスにおいて受信(S207)]
    S207 --> S208[利用履歴の取得と履歴・購入記録等その他の必要な本データを抽出。本発明のサーバ・システムに送信(S208)]
    S208 --> S209[サーバ・システムにおいて受信(S209)]
    S209 --> S210[利用履歴(ポイント履歴)の更新を必要とする履歴情報(と等)から該当する利用履歴のデータを抽出(S210)]
    S210 --> A((A))
  
```

【図6】本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフローチャートである。

```

graph TD
    S100[利用者端末からインターネットに接続(S100)] --> S101[サーバシステムにサーバ等)にアクセス(S101)]
    S101 --> S102[ポイント購入メニューを選択(S102)]
    S102 --> S103[入力/送信フォーム等を利用者端末に表示(S103)]
    S103 --> S104[利用者の氏名、電子メールアドレス、決済方法等の利用者に關する情報を入力(S104)]
    S104 --> S105[送信し、サーバシステムにおいて受信(S105)]
    S105 --> S106[利用者情報を利用者ポイント情報記憶手段に記憶(S106)]
    S106 --> S107[利用者のIDやパスワード等の認証情報を発行し、利用者ポイント情報記憶手段に記憶すると共に、利用者端末に送信(S107)]
    S107 --> S108[ポイント購入金額などの購入関連データを利用者端末において入力(S108)]
    S108 --> S109[送信し、サーバシステムにおいて受信(S109)]
    S109 --> S110[ポイントアークを発行し、利用者ポイント情報記憶手段に記憶/領受更新(S110)]
    S110 --> S111[利用者ポイント情報記憶手段に記憶する(S111)]
    S111 --> S112[更新されたポイント積換率を利用者端末に送信(S112)]

```

```

graph TD
    S1[所定期間が経過するまで] --> S2[決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶し、ポイント残高更新(S219)]
    S2 --> S3[複数の利用者に関する、複数の提携WEBサイトにおける、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶する処理(S300)]
    S3 --> S4[ ]
    S4 --> S5[複数の利用者に関する、利用者ポイント情報記憶手段に記憶された決済金額データを、回収代行手段が、提携WEBサイトごとに集計(S301)]
    S5 --> S6[決済金額データからポイント金額又は当該金額の所定の割合の金額を算出(S302)]
    S6 --> S7[算出された金額をWEB運営者情報記憶手段に記憶(S303)]
    S7 --> S8[提携する各WEBサーバーに送信(S304)]
  
```

```

graph TD
    Start([△]) --> S212{ポイント残高が購入金額に足りているか  
(S212)?}
    S212 -- YES --> S215[決済可能なポイント残高をWEBサーバーに  
送信(S215)]
    S212 -- NO --> S213[決済不可のポイント残高をWEBサーバーに  
送信(S213)]
    S215 --> S216[購入品目・購入金額等の履歴(S216)]
    S216 --> S217[決済済データを管理するWEBデータベースに  
データベース化して送信(S217)]
    S217 --> S218[データベース化して受信(S218)]
    S218 --> S219[決済済データを管理するポイント残高管理システム  
に送信し、ポイント残高を更新(S219)]
    S219 --> S220[ポイント残高がゼロを超過するWEBサーバー  
に送信(S220)]
    S219 --> S219a[支払方法が現金へ]
    S219 --> S219b[手元から現金を返却するへ]
    S220 --> S221[利用客端末に送信(S221)]
  
```


【図6】

